とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	令和7年9月18日
クラス名（年齢）	たんぽぽ　　組（　　2　　歳児）
年間テーマ	自然

1、活動テーマ

＜テーマ＞

どんぐりに触れてみよう

＜テーマの設定理由（子どもの姿）＞

・秋になり歌や絵本に出てくるどんぐりに親しめるよう、実際にどんぐりに触れ、形や感触を楽しめるようにする。

2、活動スケジュール

・どんぐりに触れて遊べるコーナーを用意し、
数人ずつどんぐりに触れて遊ぶ。

3、環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

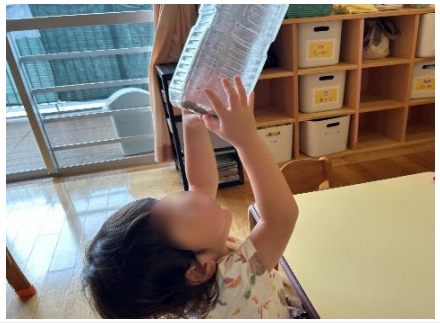
・どんぐり、皿、ペットボトル、卵パック
お菓子の容器、ヨーグルトの容器

4、探究活動の実践

＜活動内容＞

・皿にどんぐりを出して、好きなように触れる。
・ペットボトル、容器などを用意し、子どもたちで
様々な素材を自分で選び、どんぐりを入れて遊ぶ。

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

子どもの言葉・姿	写真
・どんぐりを振っていると「何か入ってるよ」とカラカラ音がすることに気付く。そこでどんぐりを割ってみると、興味津々に見ていた。中には黒い種のような物が入っていて「ナッツみたい」「黒いね」と言い「他のどんぐりは違うのが入っているのかな？」と気になっていたので、もう1つ割って見比べた。すると、2つの種を手に持ちながら「同じだよ」と声を上げていた。 ・様々な素材を出すと、容器の穴に一つひとつどんぐりを入れていた。どんぐりの形にもこだわり「小さいのがいい」と選んで入れていた。すべてどんぐりが入ると「お菓子作ったよ！」と喜んで見せに来た。 ・ペットボトルにどんぐりを入れると初めは振って音を鳴らしながら遊んでいた。すると急に振るのをやめてペットボトルの底を覗いていた。「どんぐりがよく見えるよ！」と下から見たり、次は横から見たり、色々な方向から見て楽しんでいた。	 

5、振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

・どんぐりに興味を持っていたので、楽しみながら興味を深めることができた。どんぐりに触れると、中に何が入っているのか気になる姿や子どもたちの言葉を聞いて、一人ひとり色々な発想や視点を持っていると感じた。これからも子どもたちの自由な発想やわくわくする気持ちを大切にしながら考えていきたいと思った。